



4年ぶりに開催! 自熱の中学生ボウリング

7月2日(日)古牧地区中学生球技大会がヤングファラオで開催され、96名が参加しました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことにより、4年ぶりに大会を開催することができました。

大会は、住民自治協議会田中邦夫会長による始球式で幕開けとなりました。ストライクを連発し歓声上がるレーンや、和気あいあいとした雰囲気のあるレーンなど、各レーンで思い思いの投球が繰り広げられ、熱い戦いとなりました。1人2ゲームという短い時間ではありましたが、楽しいひと時を過ごすことができました。

表彰式では、優勝者より「今日はとても楽し

いボウリング大会でした! 優勝できて嬉しい」「とにかく、1位になれてよかった!」と喜びの声をいただきました。また、他の参加者からも「学校の友達と出られるので参加した」「楽しい時間だった」との声が寄せられ、好評のうちに閉幕しました。(青少年育成部)

男子の部

優勝	小松 龍 義(3年)	西和田
2位	宮下 蓮 生(3年)	西和田
3位	小山 凜太郎(3年)	五分一

女子の部

優勝	宇土 泉 竹(1年)	五分一
2位	原 愛 実(1年)	南高田
3位	米 澤 光 織(3年)	南長池



親睦ゴルフ大会を開催

第19回古牧地区親睦ゴルフ大会が6月30日(金)に長野国際カントリークラブで盛大に開催されました。

この大会は、福祉健康部と古牧ゴルフクラブが地域の皆さんの健康づくりと親睦を兼ねて開催するもので、今年は、11地区109名(男性106名、女性3名)が参加しました。コロナ感染症が終息していない状況から昨年同

様に地区ごとにまとまってプレー、クラブ内ではマスク着用、手指消毒の徹底など感染予防対策を講じての大会でしたが、クラブ内やパター練習場などあちらこちらで参加者が談笑する光景が見られ、親睦を図ることができました。

梅雨の最中の開催であり、一時小雨にたた

次頁につづく

前頁のつづき

られた時間帯もありましたが、無事に競技を終了することができました。運営に当たられた関係者の皆さまに感謝です。

今回、参加されなかった皆さまも来年の第20回大会には奮ってご参



加くださるようお待ちしております。

なお、6月11日(日)の三世代交流グラウンドゴルフ大会は雨のため残念であります、中止になりました。(福祉健康部)

成績上位者

男性の部

1位	中村和雄
2位	武田安男
3位	馬場正美

女性の部

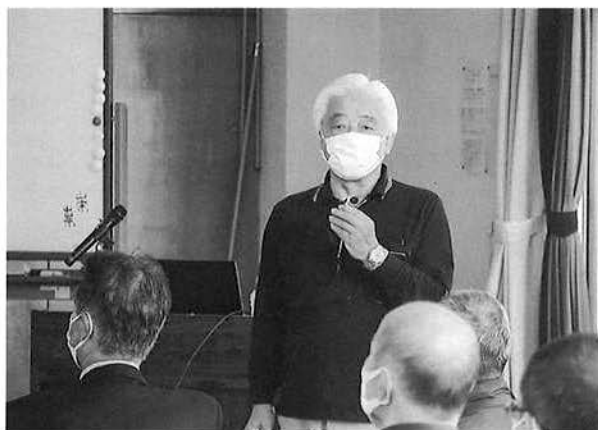
1位	三浦園子
----	------

公民館部役員研修会 ~長野の町をぶらっとしてみませんか~

6月3日(土)古牧公民館において、公民館部役員研修会が開催され45名が参加しました。

最初に行なわれた講演会では、長野市ガイド協会副会長の馬場俊行先生をお迎えし「門前町ながの・歴史散歩」と題してお話をいただき、善光寺の話題を中心に長野の歴史について学びました。普段何気なく見ている物や通ったりしている場所にも様々な歴史があり、ひとつひとつ紐解いていくと、時代背景や当時の人々の思いを感じることができました。

丹波島橋北詰にある永代常夜燈の明りが、善光寺参拝者の道標となっていたこと。戦争中には如意輪観音像をはじめ大香炉などが金属供出のために一度失われてしまったこと。また、善光寺表参道の成り立ちやビューポイントなども教えていただきました。さらに、長野停車場(長野駅)の拡張工事の秘話や近代化のため取り壊されてしまった仏閣駅舎や1番線ホームのお話なども、大変興味深く聞かせていただきました。参加者からは「見えている物の裏には様々な歴史や思いが隠されていることがわかり、地域を歩いてみ



たくなった」「自分の住む地域の歴史を調べてみたい」等の感想が寄せられました。

休憩の後は、地域公民館の実践発表を行ないました。今回は川端地区、中村地区、東和田地区の館長さんから昨年度の活動実績や今年度の活動予定などの報告がありました。いずれの公民館も、コロナ禍の中で行事の中止を余儀なくされたり、工夫をして行なったりしたことや、規制緩和により今年度の行事再開への意気込みを話されました。また、課題として公民館役員のなり手不足や、サークルメンバーの高齢化等による各行事の見直しなどがあげられました。(公民館部)

地域で活動する団体を応援!!

6月29日(木)に古牧公民館において「支所発地域力向上支援金事業」の交付対象団体の

選考会が行われました。

この事業は、古牧支所が古牧地区で活動し

ている団体が行う事業により、地域の活性化及び課題解決に向けた取り組みが行われ、新たなコミュニティや仲間づくりなどが進み、地域の皆さんの活動が活発になり、地域力が向上し、地域がもっと元気になるようにと地域の団体に活動する支援金を交付するものです。

選考会では、交付を希望する団体からそれ

ぞれ事業内容の説明を受けて、7名の選考委員により事業の必要性、効果、将来性などの視点から審査が行われ、審査の結果「自主防災備品の整備」、「福祉関係用具の購入」などを行う7団体に対して地域力向上のための支援金を交付することになりました。

なお交付対象団体は長野市のホームページをご覧ください。
(古牧支所)

北八幡雨水調整池の貯水容量の増加に向けて

北八幡雨水調整池は、北八幡川下流の越水を防ぐために建設された調整池です。近年は、長野市内の市街化などに伴い、豪雨などが降ると市街地で保水できない水が周辺の側溝などを通じて、中小河川に流れ込み、一旦、北八幡雨水調整池で貯水され、その後、北八幡川下流へ放流する雨水調整機能を有しております。

しかし、現在は、長時間または、局地的に発生するゲリラ的な降雨などによって雨水調整池で貯水できない水が北八幡川の下流沿線地域で、度々、河川が氾濫する被害を起こしております。

このため、住民自治協議会では、下流の地域での河川氾濫など防ぐため、長野市に対して緊急的、恒久的な水害対策を求めてきておりますが、少しずつ対策工事などが進んできており、今後も長期にわたり北八幡雨水調整池及び北八幡川下流で計画的に改修工事が実施される予定です。

その中で、北八幡雨水調整池は、土砂などが堆積することから定期的(5年毎)に浚渫工事が行われてきましたが、降雨により流れ込む

土砂が多く、より一層の貯水容量を確保するため、令和4年度の事業として、本年1月から、調整池の底面を80cm程度掘り下げる掘削工事が行われ、堆積していた土砂、葦などの草木などが取り除かれ本来の調整池の姿に戻り、従来よりも貯水容量が増加しました。

今後も、長野市では、雨水調整池での貯水機能を更に確保する改修工事。また、放流先になります北八幡川の改修工事などを実施する計画になっております。

引き続き、住民自治協議会では、長野市と定期的な事業説明会などを開催して、改修工事の進捗を見守っていくとともに水害のない古牧地区づくりに努めてまいります。

(注1)北八幡雨水調整池は、北条、五分一、西和田、平林の地区に囲まれ、計画貯水容量11万 m^3 、長野市に17ある雨水調整池の1つです

(注2)浚渫(しゅんせつ)工事とは、調整池の底に堆積した土砂を取り除き水深を確保する工事です



櫻ヶ岡中学校今昔

古牧郷土史研究会 三上 喜伴

櫻ヶ岡中学校が誕生して今年で55年になります。その前身の川端中学校の校庭で遊んだ世代も後期高齢者になりつつあります。

川端中学校の前身は昭和12年(1937)に設立された川端尋常高等小学校に遡ります。敷地面積 9,484坪



開校記念碑

(31,300㎡)、周りは水田・桑畑一色でした。川端中学校校歌では「はてなき広野ここ川端に地を占めて」と歌われています。川端尋常高等小学校の開校の半年後、この地に長野市立長野実科高等女学校が併設されました。

戦後、市立^{しりつ}高等学校となり、のち徳間に移り^{いちりつ}阜月高校、そして市立長野高

校の母体となりました。

川端中学校の敷地には川端天神社境内に鎮座する飯縄社があったと伝えられています。古文書によると中学校の南東部には飯縄東道とか飯縄東道支線の名前の道があります。(現在、地積図では里道・赤線)

川端尋常高等小学校の開設記念碑は櫻ヶ岡中学校のプール北側にあり、市立高校の正門の門柱はグラウンド西側に、川端中学校東門の門柱は敷地東側に朽ちかけた姿で名残をとどめています。グラウンド

南側にあった旧正門は全く往時の面影のない門になってしまい残念です。次の周年行事で復元されることを願います。



飯縄社

娑婆鉛筆 住民自治協議会について思う

皆さんは、住民自治協議会という組織の存在をご存知でしょうか。「長野市及び住民自治協議会の協働に関する条例」(2009年3月制定)によれば、【「住民自治協議会」とは、良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行っている住民の自主的な団体のうち、当該団体からの申込みにより第4条の規定による協定を締結する相手方として市が認定するものをいう。】と定められており、古牧地区を含む全部で32の住民自治協議会があります。会長を筆頭に各部長、部長、部員がボランティアに近い形で活動しています。

私は、縁あって住自協の広報部部員を務めることになり、この娑婆鉛筆を執筆する機会をいただきました。久しぶりに住自協の会議に出てみると、以前お会いした

方がちらほら。議員のなり手不足が問題になっていますが、それ以上に地域役員のなり手不足は深刻だと思います。

私も、60(才)を過ぎれば役員を頼まれる時がくるなあ、なんて去年の今頃思っていたら、もう(40才)きました(笑)。やってみて思うのは、あまり年を重ねてからやるのは大変かなど。仕事をしているという理由で断る人がいると思いますが、高齢になってからやるのは気力、体力の面でもっと大変じゃないかなど。それに今は、高齢者でも働いている人はたくさんいますし、親の介護なども出てきます。誰かがやらなければならいことですから、やれる時にやってきちんと次の人に引き継いだ方がいいと思うのです。でなければ同じ人が何年も(または何回も)役員をやらなければならず、それこそ大変です。

(福原 卓)



古牧地区の世帯数と人口

令和5年7月1日現在

11,790世帯

(男 13,003人

26,216人

女 13,213人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 田中 邦夫
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP
ご覧ください